

官庁施設の浸水対策による災害 応急対策活動への支障解消 (石川県金沢市)

事業者：国土交通省北陸地方整備局営繕部



防潮板整備前



防潮板整備後



対策名：No.74 災害応急対策の活動拠点となる官庁施設に関する緊急対策

事業名：金沢新神田合同庁舎の浸水対策（防潮板の整備）

- ポイント**
- 金沢新神田合同庁舎は災害応急対策活動拠点となる官庁施設
 - 地下階にある電気関係設備への浸水対策として防潮板を整備
 - 内水氾濫による災害応急対策活動への支障を解消

地域の概要・課題

金沢新神田合同庁舎は石川県金沢市にあり、災害応急対策活動を実施する官署が入居する官庁施設です。

庁舎付近を流れる犀川が氾濫し、地下階に設置している自家発電設備や受変電設備が浸水した場合、災害応急対策活動に支障が生じる恐れがあります。

事業の概要

内水氾濫による浸水への対策として、地下階への浸水が想定される2箇所の車路スロープ部に着脱式の防潮板を整備しました。

防潮板の整備は令和元年12月に完了しました。

【見込まれる効果】

浸水対策を実施したことにより、内水氾濫時においても電気関係設備が問題なく使用できる状況となり、災害応急対策活動への支障が解消され、的確な業務継続を実施することが可能です。



H8年犀川水害時 高島1丁目付近
(出典元：金沢市HP)